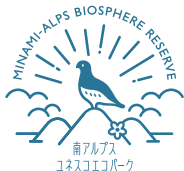




シリーズ「南アルプスコネスコエコパーク」#7【撮影：小松 喜久治さん】

## 第2回定例会【6月】 一般会計補正予算17億円を可決

### Contents / 目次



- P02 6月定例会の概要
- P04 審議結果一覧／常任委員会委員長報告
- P05 予算特別委員会レポート
- P06 代表質問・6議員
- P12 一般質問・9議員
- P17 議員活動報告／政務活動費支出内容一覧／議長交際費
- P18 議会改革 VOL.4
- P20 市民からひとこと／編集後記

## 一般会計補正予算

# コロナ・物価高騰対策に注力

令和4年第2回定例会が5月27日から6月17日までの22日間の会期で開催されました。

金丸市長から、専決処分案3件、条例案2件、予算案2件、ほか6件合わせて13案件の提出がありました。

※4ページ参照

このうち、一般会計補正予算案は、補正額を16億9961万7千円とし、予算総額を330億4158万4千円とするもので、コロナ対策および物価高騰対策の事業が多くを占めました。

※下段参照

また、専決処分案のうち承認第3号については議論が行われました。

※3ページ上段参照

市長から提出された案件は、いずれも原案のとおり可決しました。

このほか、山梨県労働組合総連合から請願がありました。審査の結果、不採択となりました。

※3ページ中段参照

## 代表・一般質問 ※6〜16ページに掲載

今定例会では、6月13、14日に15名の議員が代表・一般質問を行いました。

## ピックアップ 第2回定例会(6月)で決まったコロナ・物価高騰対策の主な事業

3506万円

### 給食費の物価高騰分を

市が負担

- ・物価高による給食食料費の高騰分を市が負担する
- ・令和4年度分の市立小中学校給食費等が対象

5803万円

### 給食費の保護者負担を軽減

- ・給食費の保護者負担金を約30%分減額
- ・令和4年度2〜3学期の市立小中学校給食費が対象

1億3780万円

### 4回目のワクチン接種

体制を確保

- ・新型コロナウイルス感染症対策事業
- ・60歳以上の高齢者や基礎疾患のある方を対象にした4回目のワクチン接種体制を確保

7億8428万円

### 全市民に元気券

1万円分を配布

- ・地域経済活性化・生活者支援事業
- ・利用可能期間は令和4年11月1日〜令和5年1月31日
- ・9月頃から順次配布を開始
- ・元気券は3回目の発行

8701万円

### ひとり親世帯および住民税非課税の

子育て世帯に給付金

- ・子育て世帯生活支援特別給付金支給事業
- ・対象世帯に対し、児童一人あたり5万円を支給

1億1454万円

### 一定の要件を満たしている生活困窮世帯に支援金

- ・生活困窮世帯緊急生活支援金支給事業
- ・対象一世帯あたり1万5千円を支給
- ・山梨県の補助金を活用した事業

5117万円

### 新たに住民税所得割非課税となった世帯に給付金

- ・住民税所得割非課税世帯臨時給付金支給事業
- ・対象一世帯あたり10万円を支給
- ・令和3年度に同給付金等を受給していない世帯が対象
- ・南アルプス市が単独で実施する事業

1億7821万円

### 新たに住民税非課税となった世帯に給付金

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業
- ・対象一世帯あたり10万円を支給
- ・令和3年度に同給付金等を受給していない世帯が対象
- ・国の補助金を活用した事業

承認第3号 南アルプス市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分につき承認を求めることについて

承認案の概要

- ・国民健康保険税の課税限度額の引き上げ。
- ・基礎課税額の限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額の限度額を19万円から20万円に引き上げる。

反対



物価高騰の折、再検討が必要  
名取 泰 議員

見直しにより、課税限度額は初めて100万円を超える。引き上げを認めた2月の答申以降、物価が高騰しており再検討が必要だ。

賛成



中間層の負担上昇抑制が目的  
北村 千代子 議員

今回の一部改正は、高所得者層の限度額引き上げにより、中間所得者層を中心とした被保険者の負担上昇を抑制することが目的である。

討論後の起立採決の結果、賛成多数で原案は承認となりました。

請願第4-2号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

請願の概要

- 下記の項目の早期実現を求め、議会から国等へ意見書を提出すること
- ・最低賃金1500円以上をめざすこと。
  - ・最低賃金法を全国一律最低賃金制度に改正すること。
  - ・中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命と財産を守ること。

反対



まずは全国加重平均1000円超に  
齊藤 博明 議員

人への投資を抜本的に強化し、持続的な賃金上昇を実現するには、感染症の影響を受けて厳しい業務状況の企業に配慮しつつ、雇用維持との両立を図りながら、賃上げしやすい環境を整備することが最優先である。

賛成



まともに暮らせる最低賃金実現を  
名取 泰 議員

全国調査によれば、最低限必要な生計費は、都市部でも地方でも大きな格差はなく、時給換算で1500円以上必要だ。今、政治全体が中小企業支援を前提とした賃上げの方向を向いている。請願を採択し、地方から政府を後押ししよう。

討論後の起立採決の結果、賛成少数で請願は不採択となりました。

南アルプス市議会では、議会改革として以下の取り組みを行っています。

- ・議会の見える化
- ・市民の声を市政に反映
- ・行政の監視機能の強化
- ・政策提言
- ・タブレットPCを使った議会運営

18、19 ページに、これまでの改革の取り組みをまとめましたので、ぜひご覧ください。

今定例会から、タブレットPCを導入しました



# 令和4年 第2回定例会 審議した議案とその結果

上程議案		○：賛成 ×：反対	結果	藤田	保坂	飯野	三枝	松野	戸栗	三木	有野	櫻田	花輪	村松	野中	北村	矢崎	名取	小池	齊藤	清水	齊藤	河野	小林			
				亜由未	健	多恵子	守和	昇平	淳	充	一成	力	幸長	三千雄	國幹	千代子	俊秀	泰	伸吾	重仁	博明	綿子	敏徳				
飯野久議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、議長裁決として表明します。																											
専決処分の承認																											
承認	2	税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
承認	3	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×		
承認	4	介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
条例の制定																											
議案	50	南アルプスIC周辺高度活用計画検討委員会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
条例の一部改正																											
議案	51	農業後継者奨学助成金支給条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和4年度補正予算																											
議案	52	一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	58	一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他																											
同意	21	公平委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	53	財産の取得（消防団消防ポンプ自動車）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	54	財産の取得（高規格救急自動車）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	55	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	56	市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案	57	市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願	4-2	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○			

6月議会

## 常任委員会 委員長報告

常任委員会の質疑の要約を掲載しています。常任委員会では、条例案など予算以外の案件について審査しました。

### 総務常任委員会

#### ●南アルプスIC周辺高度活用 計画検討委員会条例の制定

Q 検討委員会は15名以内で組織することだが、人員構成はどのように考えているか。

A 委員の構成は、学識経験者3〜4名、地権者代表を若草と櫛形から合わせて2〜4名、市内団体で数名、公募による選出者を若干名考えている。

Q 市内団体とは、具体的にどういう団体か。

A J・A・商工会・その他土地利用に関係する団体から選出したいと考えている。

Q 「会議は原則として公開して行う」とあるが、会議の予定はあらかじめ公表するのか。

A 市のホームページ等で公表する。

#### ●財産の取得

##### （消防団消防ポンプ自動車）

Q 今回購入の消防ポンプ車の仕様は3台とも共通したものか。またその内容は。

A 3台とも同じ仕様である。内容は6人乗り、2WDのAT車で、ポンプについては1分間に2千リットルを放水できる。道路交通法の改正に合わせて、新入団員も運転できるよう総重量は3.5トン未満とした。

#### ●財産の取得

##### （高規格救急自動車）

Q 救急車のメーカーもいくつかあると思うが、車内レイアウトや業務機材の構成など、高規格救急車としての標準的あるいは最低限の仕様を定めたものはあるのか。

A 現在、メーカーは日産とトヨタの2社で、高規格救急車としての仕様は決まっている。

# 予算特別委員会 レポート

予算特別委員会は議長を除く全議員で、6月15日に審査を行いました。

今定例会では、5月27日に提出された一般会計補正予算(第1号)および6月14日に追加で提出された一般会計補正予算(第2号)の2案件が当委員会に付託されました。

## 質疑の一部を掲載しています

### 一般会計補正予算(第1号)

#### ●歳入

**Q** 道路新設改良事業について、当初予算では合併特例債を財源に活用していた。同事業を今回の補正予算では一般財源としているがその理由は。

**A** 合併特例債の残額がほとんどないため、今回は一般財源で対応している。

#### ●猫不妊・去勢手術助成事業

**Q** 猫の不妊手術または去勢手術の費用を助成するという内容であるが、市民への周知の方法は。

**A** 広報、ホームページへの掲載のほか、公共機関でのチラシの設置を考えている。

**Q** 助成金額は、雄が1万円、雌が1万5千円とのことであるが、その金額で手術はできるのか。

**A** 手術の金額を調べたところ、雄は1万円、雌は1万4千円程度となっている。差額は個人の負担となる。



#### ●民間保育所活動支援事業

**Q** 保育所や幼稚園に入所していない子どもを持つ世帯が、一時的に育児が困難となった場合に、市内5か所の保育園等を利用できる一時預かり保育について、いつから無償化となるのか。

**A** 今年度の4月にさかのぼって無償化の対象としたいと考えている。

**Q** 周知の方法は。

**A** この事業を実施している保育所での掲示、広報等への掲載を考えている。

#### ●若草小学校校舎改築事業

**Q** 若草小学校校舎改築における工事期間中の仮設校舎設計費の補正予算であるが、仮設校舎にエアコンの設置は考えているか。

**A** 仮設校舎にもエアコンの設置を予定している。

#### ●教科担任制推進事業

**Q** 市内小中学校3校(若草小学校、若草南小学校、若草中学校)が県の教科担任制推進校に指定され、教科担任制を導入すべき教科や活用法等について調査研究するということがあるが、3校が指定された経緯は。

**A** 県の指定で、山梨県では合計14校が、そのうち南アルプス市は3校が指定された。

**Q** 今回の事業の中で教科担任制を導入する教科は決まっているのか。

**A** 中心的なものは、小学校高学年の英語、理科、算数となる。

### 一般会計補正予算(第2号)

#### ●歳入

**Q** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、

本市ではこの交付金を限度額いっぱいまで活用するというのでいいか。

**A** そのとおり活用する。

**Q** 今回、3つの基金からの基金繰入金金が計上されているが、繰入後の3基金の残高は。

**A** 3基金の残高は、財政調整基金が31億8706万2千円、公共施設整備等事業基金が51億6473万3千円、地域振興基金が27億2339万1千円となる。

#### ●若草保育所新築整備事業

**Q** 若草保育所園舎建築工事の入札が不調となった。予定価格の積算を行った時期から入札までの間に物価が上昇していたため、設計積算の単価を見直した上で再度入札にかけるとのことだが、再び入札が不調となることはないか。

**A** 市場価格等を考慮した適正な予定価格としたので、落札されると考えている。

## 審査結果

付託された2つの予算案については、可決すべきものと決定しました。



## 討議の焦点



### ウイズコロナ・ポストコロナ時代における本市の政策戦略は

▶「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をビジョンと位置づけ事業推進を図っていく。

### 南アルプス産果樹の「ブランド化」を目指した販売戦略は

▶新たに本市のブランド認定とするため組織の設立を進め販路拡大に繋げていく。



新政南アルプス  
村松 三千雄 議員

## ウイズコロナ・ポストコロナ時代における本市の政策戦略

**Q** 新型コロナウイルスが本市にもたらした影響と履歴効果を、どう捉えているか。

**A** 必要な方に必要な支援を届けることを基本とし、市内事業者の事業継続を下支えする「事業者持続化給付金給付」を迅速に実施し、また市独自策の「南アルプス元気券」を発行した。更にGIGAスクール構想加速が国から示され、私の公約である「将来に向けた教育環境の整備」に合致するため、迅速に一人一台パソコン体制を実現し、履歴効果として現れたところである。

また、感染症拡大により地方での生活がクローズアップされ、アクセスが容易で、魅力的な自然・地域資源を有する発展的可能性や優位性から、人口の社会増や企業からの問い合わせが増えるなど、改めて認識された。

**Q** 新しい未来を切り拓くため、ウイズコロナ・ポストコロナにおける、まちづくりの方向性とビジョンを市民に示すことが必要と考えるが。

**A** 令和2年3月に、「市創生総合戦略」を見直し、企業誘致、観光振興、移住定住など、人や企業を引き込む施策を中心に「第二期戦略」を策定し推進力の強化を図った。

更に3年7月、新型コロナウイルス感染症、デジタル化推進、脱炭素化の要素を加え、市戦略を改定しウイズコロナ・ポストコロナにおけるビジョンとして位置づけた。  
今後、市民や事業者の皆さまに改めて丁寧な周知を行い共有していく。



パソコンを活用した授業のようす

## 南アルプス産果樹の「ブランド化」を目指した販売戦略

**Q** 農産物の販路拡大のため、ブランド化やPR活動、新規食材への果樹利用の推進を図るとしているが。

**A** 市独自の品質・規格等の基準策定に向けて組織の設立準備を進め、貴陽やシャインマスカット等を、新たに本市ブランドとして認定し、更なるブランド力の向上に努めていく。

また、「バイ・ふじのくに」をはじめ、駿河湾沼津サービスエリア、名古屋駅や百貨店等で、観光PRと特産品販売フェアの開催。更に首都圏の百貨店大型ビジョンにて、PR動画放映と、JAと連携し貴陽の販売促進会を予定している。

更にJAと連携し、首都・中京圏に業務を展開するサンドイッチ専門店の期間限定フルーツサンドへの食材提供の継続と、千葉の大型観光施設が運営するカフェのスイーツ商品への提供も予定している。

今後、新広域経済圏「山の洲(くに)」の取組みにより、長野・新潟県地域へ展開し、新たな販路拡大やブランドの確立に繋げていく。

**Q** 輸出促進に向けての政策転換を積極的に進める必要があると考えるが。

**A** 農産物の輸出は、全農山梨が輸出事業者を通じて進めている。国は28の輸出重点品目を選定し、ブドウ・モモ・あんぼ柿等は本市も該当し、昨年度の輸出実績はブドウが約1000kg、モモが約1900kg、スモモが約140kgである。

今後、清水港や富士山静岡空港を活用した本市独自の輸出版売戦略を、JAや輸出関係事業者と共に調査研究していく。

## 移住・定住支援策の拡充を

▶ 補助金の活用が増加傾向であり、支援策の強化については、近隣自治体の様子を調査しながら検討していく。

## 美術館運営の今後の方針は

▶ 魅力的な企画展の開催や、地域文化教育の充実に努めていく。



躍進会  
野中国幹 議員



### 移住・定住施策

**Q** 若者世帯定住支援奨励金事業が導入され、事業の活用は年々増加傾向である。この補助基準の見直しはできないか。

**A** 本事業は、申請件数も増加傾向にあることから、若者世帯が本市への移住・定住を検討する際に、後押しをする制度として効果的な事業であると認識している。

奨励金増額による制度内容の変更も一つの手法だとは思いますが、費用対効果での検討も必要なので、近隣自治体の補助内容も調べながら、基準については研究していく。

**Q** 結婚新生活支援事業と移住支援金交付事業の、支援基準の見直しについて検討する考えは。

**A** 本事業は、少子化対策や移住・定住人口の拡大に向けた、新たな事業として取り組んでいる。本制度については、随時見直しを行い補助対象項目に追加された、住宅改修費や夫婦の年齢条件による補助金額の上限額が拡大されるなど、より効果的に運営されていることから、引き続き事業の対応に努力していく。

**Q** 「南アルプス市空き家活用定住促進事業補助金」は、空き家の



改修費の2分の1以内、100万円を上限として補助する制度であるが、補助対象が空き家バンク登録者となつていない。空き家バンク登録者でなければ補助を受けられない理由は。

**A** 本制度は、移住・定住を推進するため、空き家バンク登録物件の機能回復を支援し、円滑な売買や賃

貸を促すといった空き家バンク事業を後押しするための制度ということになっているので、空き家バンクに登録していない物件は対象外となっている。

**Q** 空き家を利用して改装やリフォームを行うとすれば、費用面でも多額の費用が必要となる。現行の上限100万円の見直しはされないか。

**A** ほかの自治体の制度内容も見ながら、調査研究をしていきたいと考えている。

### 美術館の運営方針

**Q** 平成30年度に大規模改修を行い、これに伴う記念事業が展開された。過去にない来館者を迎えることができた。今後更に市内外に向けて魅力ある美術館とするため、どのような運営を行っていくか。

**A** 美術館の根幹である展示、収蔵作品の「調査研究活動」を充実させ、多くの皆さまが来館いただける魅力的な企画展の開催に繋げていく。

また、「市民の芸術表現の場の創出」「学校との連携による地域文化教育の充実」「地域文化資源によるおもてなし」を併せて運営方針として掲げ推進していく。



## 討議の焦点

### 今回の交付金の活用について 市は何を最優先と考えるか

- ▶一刻も早い対応が求められる。  
早急に市民に最も必要な支援策を取りまとめる。

### ゼロカーボン、脱炭素社会の実現に向けた 市の考えは

- ▶環境教育の教材にも活用し、積極的、長期的に脱炭素社会の実現に向けて取り組む。



公明党  
齊藤 博明 議員

地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分）の活用

**Q** 公明党の強い要請に対して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、コロナ禍における原油価格、物価高騰対応分が創設された。これにより、地方自治体

が実施する生活に困窮する方々の生活支援や学校給食費等の負担軽減など、子育て世帯の支援、また農林水産業や運輸、交通分野をはじめとする中小企業者等の支援といった取組みをしっかりと後押しすることが総合緊急対策に明記されている。雇用維持・雇用機会の確保、困窮者支援など、生活者支援に関する事業実施計画は。

**A** 地方創生臨時交付金については、本市にはこれまで、約19億円が交付されており、交付金を活用し、地域経済消費喚起事業、事業者持続化

給付金事業、小中学校教育ネットワーク整備事業、宿泊・旅客運送事業者支援事業など、市民の皆さまや深刻な影響を受けている事業者の皆さまに対し、迅速な支援を心がけ実施してきた。

令和4年度には、約2億7千5百万円の交付限度額が、本市に内示されたところである。

現在は、原油価格・物価高騰対策な

ど、国で示された取組み事例である、「生活に困窮する方々への生活支援」「学校給食費等の負担軽減」「子育て世帯の支援」など、交付金の活用と合わせ、市単独事業費での対応も含めて、効果的な支援策について検討を進めているところである。

### 本市の学校施設における基本方針

**Q** 若草小学校改築基本計画において、エコスクール・プラスおよびZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）に即した施設を目標とすることが示された。脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現するために、本市は将来に向けたビジョンと具体策をどのように考えているのか。

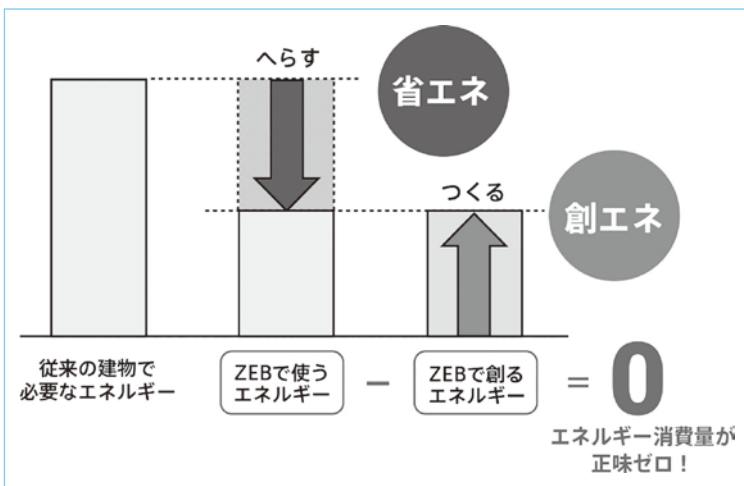
**A** これからの教育施設の整備については、安全、安心で快適な教育環境を確保し、ICTの活用など多様な教育方法、学習活動への適応性に配慮した施設としながら、地域に親しまれるとともに、防災面や耐久性にも考慮していく必要がある。

更には、社会的な要請として、脱炭素社会の実現に向けた省エネ対応などによる環境負荷の低減や、ユニバーサルデザインにも留意して

いく必要があると考えている。

施設規模が大きい学校は、エネルギー消費量も大きい。省エネルギー対策の取組みによる削減効果や、身近な公共施設として、環境教育や防災面での地域への貢献度も大きくなる。

学校施設整備に際しては、断熱性に優れた建材や、LED照明などによる省エネルギー化、また、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入など、新しい技術や設備をバランスよく取り入れ、環境対策への貢献、普及啓発の先導的役割を担うよう取り組んでいく。



ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）とは、省エネと創エネでエネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることを旨とした建物のこと



## 総務省の指摘にある予定価格の事前公表が弊害になって落札率が高止まりにある。

▶ 県内で事後公表を実施している4市の落札率は、平均で96.4%から98%にある。事後公表でも落札率は下がるとは考えにくい。



未来創政の会  
矢崎 俊秀 議員

### 若草保育所 園舎建築工事の入札

**Q** 市の入札は予定価格を事前公表としているが、国の対応と同じ事前公表としない扱いに合理性があると考えるが市の所見は。

**A** 法令上の制約がないため、予定価格の事前公表を採用している。

**Q** 市の事前公表の理由は、総務省が指摘した弊害の解決にはあたらぬ。

**A** 適正な競争が行われており、予定価格の事前公表に問題はない。

**Q** 予定価格事前公表による入札の平均落札率はどれほどか。

**A** 令和2年度の公共工事の落札率は、平均96.3%である。

**Q** この状況は、総務省が指摘した事前公表が弊害となって落札率が高止まりにある。

**A** 県内で事後公表を実施している4市の落札率は、平均で96.4%から98%にある。事後公表でも落札率は下がるとは考えにくい。

**Q** 神戸市の令和3年度実施の体育館の落札率は88%である。また、長野県の資料では全国の都道府県の落札状況は平均で93.7%である。これに比べて、本市は全国の平均から2.6%上回る96.3%にあり改善の余地がある。ちなみに、都道府県の平均の落札率と本市の落札率の差にある2.6%は、若草保育所の予定価格で算定すると1200万円以上の経済効果が期待できる。

一方、南アルプス市の令和3年度の建築工事総額は、約16億2千万円であることから、落札率2.6%の改善で4212万円の経済効果が得られた。また平成27年から令和3年までの建築物の総工費は112億2600万円であるが、全国平均の落札率と同等では7億円以上の経済効果が得られた。これを機会に若草保育所の園舎建築工事の適正な競争性を図る観点から、予定価格の事前公表を改める必要がある。

### 桃源文化会館の大ホールの特定天井の改修

**A** 入札については、これまでも見直しを行っている。今後とも入札の透明性、公平性、競争性を確保して、県や近隣市の動向を踏まえ対応する。

**Q** 大ホールの特定天井は未改修であるが、安全性に関し問題を残したままでは教育文化政策推進に支障がある。

**A** 関係法令に基づき、専門家の意見、利用者の意見を踏まえながら、



桃源文化会館

ら、改修計画を策定する。

**Q** 福島沖を震源とする地震で、白石市の文化体育活動センターの大天井が崩落をした。同様な危険性がある。改修時期をどのようにするのか。

**A** 可能な限り早い段階で改修できるように計画をしていきたい。

**Q** 特定天井の未改修に伴う危険性を会館利用者に情報提供する必要がある。

**A** 状況に応じ適切な対応を図る。



## 討議の焦点



### 生物多様性に富んだ森林づくりを

▶天然生林の保全と育成複層林の計画的な整備をしていく。

### 学校周辺の薄くなった横断歩道の緊急的修繕を

▶県や関係部署と連携を図り、早急な安全対策に取り組んでいく。



日本共産党南アルプス市議員

松野 昇平 議員

#### 森林の管理

**Q** 南アルプス市の総面積のうち、73%を占める森林の成長や生物多様性に富んだ森林づくりについて市の基本的な考え方は。

**A** 南アルプス山系は、この地域ならではの生物が多く生息・生育し、生物多様性に富んだ日本を代表する豊かな自然環境が守られていることから、2014年に、本市を含む3県10市町村の地域がユネスコエコパークへ登録された。

森林の成長は、植栽から伐採まで半世紀以上の長い年月を要し、成長段階に合わせた適切な管理を実施しなければ、強風や土砂崩壊などにより部分的、または全体的に破壊されることもある。また、生物多様性については、天然生林の保全、針葉樹と広葉樹を混ぜ合わせた混交林化を含めた育成複層林の計画的な整備や、野生動物についても、回廊等生活する空間の確保について配慮していかなければならないと考えている。

**Q** 担い手の育成と定着化をどう捉えているのか。また、作業の効率化のために先人たちからの知恵や経

験に加え、デジタル技術を積極的に取り入れ、融合させることが必要ではないか。

**A** 人材の育成は、非常に重要な課題であると捉えている。本年度より、山梨県が農業大学校に森林学科を導入し、林業の担い手の育成を図っていくということで、本市においても、これまで同校の学生に対し、農業の後継者の育成という形で支援してきたが、このたび林業後継者も支援していくことにした。本市は73%の森林を持つっており、責務でもあるので、育成については十二分に支援をしていきたいと考えている。

また、デジタル化についても、ドローンの活用などは将来的にも森林分野に大きく貢献できると期待をしているので、研究を重ねていきたいと考えている。

#### 子どもたちを交通事故から守る取組み

**Q** 横断歩道をはじめとする道路標識が見えにくくなっている箇所が市内に散見される。特に学校の周辺においては、緊急的に改修するなどの安全対策が必要ではないか。

**A** 本市では、「通学路交通安全プログラム」を、庁内関係部局と警察署で構成する通学路交通安全対策

会議において共有し、児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保に取り組んでいる。プログラムでは、毎年4月に各学校へ通学路点検を依頼、5月からPTA等の協力を得て点検を実施し、その結果が教育委員会に報告される。報告された点検結果を踏まえ、関係機関で対象箇所を合同点検し、場所や状況、改善方法を特定する。3学期には、実施された改善状況が対策会議において報告され、その結果を本市ホームページで公表している。



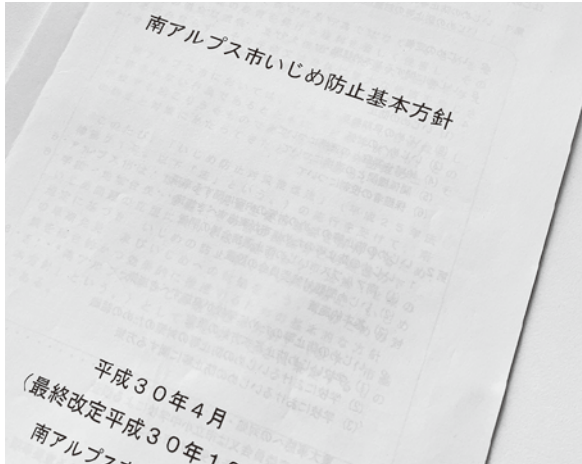
再塗装された巨摩高校東側交差点の横断歩道

## 教育環境の向上へ向けての取組みについて 市の考えは

▶自分の価値観を確立し、自己実現を図れる子どもを育てていくためバックアップをしていく。



南風  
藤田 亜由未 議員



南アルプス市いじめ防止基本方針

### 教育環境の向上

**Q** インターネットやSNSでのいじめへの対応と未然防止の取組みは。

**A** 道徳授業などでの子どもの情報モラルの向上が重要。教員間でもトラブル事例の共有を図っている。「ふれあいダイヤル」を設置しているので、よりきめこまかな対応ができるよう相談体制を整え関係機関との連携を図っていく。

**Q** 各学校に設置されている「いじめ防止基本方針」が生かされていないケースが見受けられるが。

**A** SNSの仕組みを研究しながら、子どもたちの声を受けやすいよう取り組んでいく。一部に、SNSに関する

る事例の拾い上げが難しかった可能性がある。しっかりと対応し指導していく。

**Q** ふれあいダイヤルの利用者の9割が大人であるとの報告である。窓口の受付時間も限られ、電話を持っていない子どもや自宅に電話が備わっていない家庭も増えているので、子どもたちが第三者に直接相談できるシステムの導入が必要であると考え、市の考えは。

**A** 県のホットラインの周知を図る。相談できる仕組みは先進事例を見て調査研究していく。

**Q** 文部科学省でも、オンラインやタブレット端末を利用した相談体制の強化を推進している。本市でも、一人一台タブレットを活用しSOSを出せるシステムを導入してはどうか。

**A** メリット・デメリットも含めて先進事例を調査研究していく。

**Q** 「ある。必ず教室 wing」やそれ以外の第三の居場所づくりの理解についての考えは。

**A** 本年度からwingでは対象学年の引き下げによる体験入室を試行している。

また「指導要録上、出席扱いとすることができない不登校児童生徒を対象としたフリースクール等の民間施設のガイドライン(案)」を試行的に行い支援の

在り方や有効性を検討していく。

**Q** さまざまな理由で学校に行かない・行けない子どもたちが増えている中で不安を感じる保護者も多い。保護者へ向けての情報提供や勉強会などのサポートを行う考えは。

**A** 県の相談窓口、ふれあいダイヤル、学校や担任で対応していく。他にも先進事例を参考に取組んでいく。

**Q** タブレット端末を利用し、校務や保護者との事務連絡等の効率化が必要であると考え、市の考えは。

**A** 学校によって進めているところもある。有効性のある事例を検証しながら取り組んでいく。

**Q** 主権者教育を含め、子どもたちが積極的にまちづくりに参加できるように豊かなまちに向けての、市長の考えは。

**A** 今の一番の問題は、社会の状況。教育理念というような高邁なものを持っているわけではないが、自分の価値観を確立し、自己実現を図れるような子どもを育てていく。至難の業ではあるが、市としてバックアップしていきたい。



## 質問の主題



### 子育てにやさしい まちづくりの推進を



新政南アルプス  
飯野 多恵子 議員

## 質問の主題



### 国の重要文化財の 活用に向けて



新政南アルプス  
保坂 健 議員

#### 安藤家住宅駐車場への 進入路整備

**Q** 滝沢川土手から駐車場への直接  
進入路を整備すべきと考える  
が、市の所見は。

**A** 中型以上のバスでの来館の場合  
は、滝沢川河川敷に停車し、乗  
り降りをお願いしている状況である。

安藤家住宅の一層の活用を促進し、  
周辺住民の安全性と来館者の利便性にも  
配慮する必要があるため、今後、滝  
沢川河川敷からの進入路の設置を含め、  
対策を検討していく。

#### 子育てにやさしいまちづくり

**Q** 「(仮称)子育て応援宣言」取組  
みへの市の考えと、どのような  
効果を期待しているのか。

**A** これまで「子育て支援」を市政  
の最重要課題に位置付け取り組  
んできた。宣言をすることで、「若い世  
代が結婚、出産、子育てに希望が持  
てるまち」として、市民をはじめ、市外  
の方にもアピールし、移住・定住促進  
にも期待する。

**Q** 多岐にわたる子育て支援はある  
が、新たな施策はあるのか。



安藤家住宅駐車場

#### 中高年の就農支援事業の拡大

**Q** 中高年の農業継承者経営安定支  
援事業は、その対象者条件が65  
歳未満であること、認定農業者である  
こととされている。今後、この事業の  
利用者を拡大し農業の振興につなげて

**A** 4月から、3歳未満児の保育料  
完全無償化に合わせ、在宅で育  
児をする保護者の負担軽減を目的に、  
市内5か所の保育園等で「時預かり保  
育」の利用者負担額を無償化する。



いくためには、制限は必要ないと考え  
るが、市の所見は。

**A** 安定した農業経営に繋がると考  
え、年齢を64歳までとしている。

また、継承された農業を、継続して  
経営するためには、しっかりとした経営  
計画が必要であるため、5年間の経営  
計画を策定した認定農業者を要件とし  
ている。今後の申請状況、就農希望者  
の意見や要望等を伺いながら、就農希  
望者にとって活用しやすく、安定した  
農業経営への支援となるよう、本事業  
の改善と地域に合った市独自の施策を  
研究していく。

**Q** 4月から、「子ども家庭相談課」  
が「相談支援担当」と「途切れ  
のない支援担当」の2担当でスタート  
した。「福祉総合相談課」や「子育て  
支援課」、「障がい福祉課」、「健康増進  
課」、「教育委員会」等の連携は効果的  
に機能しているのか。

**A** 「子ども家庭相談課」は、すべての  
子どもと、その家庭および妊産  
婦等への福祉に関する支援を行う「こど  
も家庭総合支援拠点」として設置した。  
両担当とも、庁内各部署と連携し業務  
を進めており、これまで以上に密接に  
連携し、より効果的に機能している。

## 質問の主題



### 高齢者福祉の充実と 観光振興は!!



新政南アルプス  
有野 一成 議員

**Q** 地域包括支援センターの現状と課題は。

**A** 介護予防サービスや日常生活支援等の相談件数は大幅に増加している。一方、介護予防サービス利用者の要介護認定移行者は、2017年度

**Q** 年間を通じて楽しめる観光プログラムへの取組みは。

**A** 今秋には山梨スポーツエンジンと連携し、県営南アルプス林道を活用したサイクルイベントを試験的に開催する。その実証実験等を踏まえ通年観光の方策について研究していく。



夜叉神峠に軌道系乗物の導入を

山口から夜叉神峠まで800mの距離があり、モノレールやケーブルカーの導入が現実的であると調査報告があった。今後はさまざまな視点から研究していきたい。

## 質問の主題



### 地域の活気・活力を取り戻すには・・・!



新政南アルプス  
三木 充 議員

**Q** 地域再生 地区役員・各種団体の役員の手不足は深刻である。これを、どのように捉えているか伺いたい。

**A** 近年、社会構造の変化や核家族化の進行、多様な価値観の尊重により、地域社会との関わりが失われつつある。このことは、自治会の加入率の低下にも表れており、地区役員や各種団体の役員の手不足に繋がっていると考えている。

自治会は、地域課題に取り組む組織として、重要な役割を担っている。しかしながら、自治会が希薄化する

**Q** 地域の団結力の強化には、地域イベントや行事の復活が有意義だと思うが、財政状況が良い現在、財政の面で地域を応援してはどうか。

**A** 地域のイベントや行事は、その地域の伝統文化の継承はもとより、成し遂げた達成感を地域全体で共有できることから、地域の団結力の強化には、大変有効な手段であると考えている。さまざまな事情から途絶えてしまった行事もあるかと思うが、復活に向け、取り組むことも大切である。

●その他の質問  
・市営住宅について

まずは、自治会などを中心に、地域の中でイベント等の内容を協議し、市民の皆さまの気運を醸成していただければと考える。



自治体と各種団体の協議のようす

#### 高齢者福祉の充実

**Q** 地域支えあい協議体の活動は。

**A** 自治会圏域で活動する第3層協議体は、市内6割の自治会が活動している。自治会に対して協議体活動への理解を深めて頂けるよう努めていく。

#### 観光振興

**Q** エコパ伊奈ヶ湖や芦安地域の施設等をどう活用していくのか。

**A** また、夜叉神峠に軌道系乗物の導入は。民間関係団体とアクションプラン検討ワーキングを立ち上げ、滞在型周遊観光が可能な事業を検討していく。軌道系乗物の導入については、登



## 質問の主題



### 高齢運転者への 安全運転と免許証 返納者支援を！



公明党  
河野 木綿子 議員

## 質問の主題



### 公園の施設設備の 充実と清潔感ある トイレを



躍進会  
北村 千代子 議員

**A** 高齢ドライバーによる事故の割合は高まっており、市内では、65歳以上の高齢者による交通事故に占める割合は、令和2年が全体の41%、令和3年は38%と高い水準で推移しており、高齢ドライバーの事故防止対策は喫緊の課題である。今後は、先進的

**Q** 令和元年9月に質問したが、高齢ドライバーによる自動車事故を減らすための安全運転講習や技術講習などの取組みの進展は。

**高年齢者の安心安全な  
自動車運転のあり方と  
運転免許証返納者への支援**

**A** コミュニティバスの年間「定期券」を、「運転経歴証明書」を提示したが、その後の検討は。



**Q** 運転免許証を返納したドライバーに特典を付ける支援を提案したが、その後の検討は。

- その他の質問**
- 子どもを失った家族へのケア支援について
  - 不育症について
  - 加齢性難聴への支援について
  - ブロック塀等撤去改修補助事業、木造住宅耐震改修等の受領委任払いの適用拡大について

な取組みを参考に山梨県交通安全協会や南アルプス警察署と連携し、実態に即した支援事業を検討していく。

すると、3千円を、毎年2千5百円で購入できる割引特典がある。他市の状況も参考にする中で検討したが、返納年度の一時的な特典であり、継続的な支援に繋がらないため、導入しなかった。今後も検討する。

## 公園の施設整備

**Q** 公園の施設整備には細やかな配慮で、環境整備をすることを期待するが市の考えは。

**A** 公園施設の長寿命化改修計画により、公園機能の保全を図り、適切な維持管理とともに利用者の視点に立ち、施設整備に努めていく。

**Q** 櫛形総合公園西側エリアは「日陰が少ない」という利用者の声に対し、市の対策は。

**A** 日陰は熱中症対策としても必要と認識している。現在実施している都市公園再整備計画の中で検討し

ていく。

**Q** 都市公園再整備計画の中で、櫛形総合公園にウォーキング等のコースが計画されているが、コースの中に一休みできるベンチを随所に設置し、リハビリの方も利用できるような細やかなコースづくりを検討すべきであると思うが、市の見解は。

**A** コース設定にはベンチ等の休憩設備を配慮できるよう検討していく。



櫛形総合公園西側エリア

## 公園のトイレ

**Q** 防犯上の危険防止や体調不良時の通報装置の設置について市の見解は。

**A** 都市公園屋外トイレ26か所のうち15か所に設置されているが、安心安全の観点から、設備の設置を検討していく。

**Q** 経年劣化しているトイレの黄ばみくすみ、水垢を磨いて、衛生的で清潔感のあるトイレ設備を望むが、市の見解は。

**A** 長寿命化改修計画の中で検討していく。

## 質問の主題



### 南アルプス IC 周辺の開発可能性と 土地利用方針は



南風  
櫻田 力 議員

**Q** 議員説明会で報告されたSWOT分析の内容は、対象地域の現況を整理したにすぎず、分析目的の開発可能性や土地利用の在り方の戦略、戦術を明らかにしていない。分析が途中であると考えるが、今後どのように対応するのか。

**A** 対象地域の現状の姿を客観的に捉える必要があり、プラス要因である強みと機会、マイナス要因となる弱みと脅威を整理するために活用した。

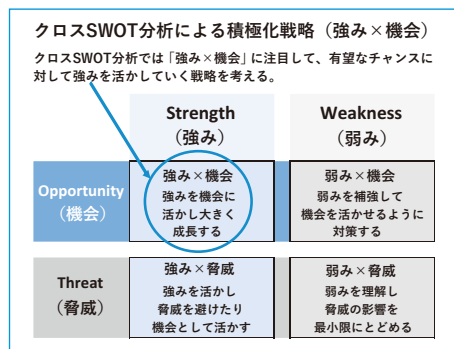
**Q** 開発可能性を探るためにSWOT分析を活用した理由は。

#### 南アルプスIC周辺整備事業

**A** 本市の新たなまちづくりの拠点となる魅力と可能性を秘めた場

**Q** 企業意識調査結果によれば、この地域に魅力を感じている企業は約3割であり、「市の方針・計画が定まっていない段階では検討に至らない」との回答が多かったとのことである。市の方針を打ち出すことが急務と考えるが、今後どのように計画を進めていくのか。

**A** 強みと機会、弱みと脅威など、それぞれの要因を複合的に掛け合わせて分析し、土地利用や導入機能の具体策を検討していく。



所であり、立地特性を最大限に活かした土地活用を目指している。今年度、学識経験者、市内団体、地権者代表等による検討委員会を設置し、計画の早期策定に取り組んでいく。

## 質問の主題



### 物価高騰の折、 学校給食費無償化の 決断を



日本共産党南アルプス市議団  
名取 泰 議員

しかし、物価高騰の影響は大きいため、質を低下させることなく、美味しい給食を提供していくため、本年度は、地方創生臨時交付金を活用し、賄材料費の物価高騰分を保護者に転嫁せず、市が負担する。

**A** これまで学校給食法に基づき、保護者に給食費を負担していた

**Q** コロナ禍に加え、物価高騰が深刻となっている。今こそ、給食費を無償にすべきと考えるが。

#### 学校給食

**Q** コロナ禍や物価高騰のもと、市として給付型の奨学金を拡充す

#### 奨学金事業



南アルプス市の学校給食

併せて、保護者の負担軽減策として、臨時的に、本年度の2学期、3学期分の小中学校の給食費を、約3割減額する。

まずは、貸与型の奨学金について、返済が困難なケースに対し、返済の猶予や据え置き、期間の延長等の方策を検討していく。

**A** 本市の給付型奨学金には「小林愛則育英奨学金」が、貸与型には、「南アルプス市奨学金」と芦安地区に住所のある生徒に限定した「育英奨学金」がある。

べきと考えるが。

# 一般質問

## ウクライナ人道支援のための 支援金を送りました

2月24日にロシアによるウクライナの侵略が始まってから5か月が経過しました。

この間、南アルプス市議会では、3月9日に抗議の決議を提案し全会一致で可決しました。決議の内容は下段のとおりです。

ウクライナ情勢はその後悪化を続けており、ウクライナから近隣国に避難した人は800万人以上、ウクライナ国内避難民の推計は700万人以上とされています。

この度、南アルプス市議会では、ウクライナへの人道支援のため、令和4年6月28日にUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）へ支援金（22万円）を送りました。

### ロシアによるウクライナ侵略に対して 嚴重に抗議し、ロシア軍の即時撤退等を 求める決議

ロシアによるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙である。

このようなロシアによる力を背景とした、一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できない。

よって、本市議会は、ロシアおよびロシアのウクライナへの侵略に協力しているベラルーシに対して、一連の軍事侵略に嚴重に抗議し、ロシア軍の即時撤退を強く求めるものである。

また、政府においては、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くしていただきたい。

以上、決議する。

令和4年3月9日 南アルプス市議会

### 質問の主題



小林 敏徳 議員

### 参入企業が決まったのに、なぜ企業名を 発表しないのか

#### 新産業拠点整備

**Q** 3月の「市長説明要旨」の中で「3月下旬に事業候補者の決定をする」と公言していたが、当初の予定より遅れているのはなぜか。

**A** 今年の3月に開催された「南アルプス—C新産業拠点整備事業審査委員会」による審査会を経て、応募のあった複数の提案の中から、4月1日に事業候補者を選定した。現在は、県の関係機関や、破産管財人と、工事内容や法令などについて、協議を重ねているところである。なお、参入企業については、協定締結と併せて公表する考

えである。

**Q** 事業候補者が決定したのであれば参入企業を発表すべきである。いつになったら正式に企業名を発表するのか。

**A** 進行状況からして、7月中旬には発表できると思う。

#### 住民訴訟

**Q** 市民から、広河原山荘新築工事の実施設計について、「損害賠償命令請求住民訴訟事件」で訴えられているが、裁判の経過について報告すべきではないか。

**A** 住民から令和2年11月25日に甲府地方裁判所へ訴状が提出され、令和3年3月16日に第二回口頭弁論が開かれた。以来、裁判所の方針により、公判に向け、双方の主張を書面で提出しており、法廷の審議は行われていないため、現状、説明および報告ができる状況ではない。裁判の経過と結果については、裁判が進展し、説明できる時期が来たら報告する。



新広河原山荘



# 議 会 活 動 報 告

## ●協定の締結

### コーセーコスメポート株式会社との パートナー協定の締結 **5月19日**

南アルプス市とコーセーコスメポート株式会社は「ユネスコエコパーク× PEACEFUL GREEN PROJECT」パートナー協定を締結し、議会からは飯野議長が協定締結式に出席しました。この協定は、両者がパートナーとして連携・協働し、豊かな自然を次世代に引き継ぐ活動などに取り組むことにより、自然環境の保全を推進するものです。



## ●協定の締結

### 株式会社フィッツとのパートナ シップ協定の締結 **5月19日**

南アルプス市と株式会社フィッツはグリーンパートナーシップ協定を締結し、議会からは飯野議長が協定締結式に出席しました。この協定は、ユネスコエコパークの3つの機能である、保全機能、学術的研究支援機能、経済と社会の発展機能について相互に連携を図り、持続可能な社会の実現に寄与することを目的とするものです。



## 令和3年度 政務活動費支出内容一覧表

本市では、各会派に政務活動費を交付しています。

令和3年度において、政務活動費を使った各会派の活動は下表のとおりです。

(単位：円)

会派名	支出額	月 日	行政視察先	内容等
新政南アルプス (7人) 交付額 1,260,000	調査研究 180,699 資料購入 30,770 広報 312,686 合計 524,155	R3/11/4 ~5	滋賀県大津市	「全国市町村国際文化研修所」 議会改革を考える～先進事例に学ぶ 住民参加・情報公開～
		R4/1		<資料購入> 地方議員研究会：10年目 までの議員向け特別セミナー
		R4/1		<広報誌発行> 新政南アルプスだより
躍進会 (4人→5人) 交付額 840,000	調査研究 820,073 合計 820,073	R3/11/4 ~6	山口県山口市	有限会社 石野製作所
			鹿児島県日置市	鹿児島オリーブ(株)
公明党 (3人) 交付額 540,000	調査研究 6,664 合計 6,664	R3/5/12	山梨県富士吉田市	ふるさと納税制度について
未来創政の会 (2人) 交付額 360,000	資料購入 28,050 合計 28,050	R4/3		<資料購入> 地方自治制度の歴史他 15冊
日本共産党 南アルプス市議団 (2人) 交付額 360,000	広報 282,105 合計 282,105	R3/5・R4/2		<広報誌発行> 日本共産党南アルプス 市議団ニュース No.50・51
南風 (3人→2人) 交付額 420,000	調査研究 4,000 資料購入 2,860 合計 6,860	R3/11	山梨県韮崎市	自主防災会組織の再編成について
		R1/8		<資料購入> 地方公共団体歳入歳出 科目解説 (九訂)

交付額は月額15,000円に会派の人数を乗じた金額となります。

交付額に残額が生じた場合には市に返還となり、超過した場合には超過分を議員が自己負担します。

## 令和3年度 議長交際費の支出状況

令和3年度に支出した議長交際費をお知らせします。

◆議長交際費とは議長が議会を代表して各種行事など対外的な活動をするために要する経費です。

(単位：円)

会費・協力金		お祝い		弔慰		お見舞い		その他		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	10,000	1	5,000	21	121,500	0	0	1	4,410	24	140,910

### 議会改革のこれまでの取り組みをご報告します。

昨年の6月に議会改革検討委員会を立ち上げてから1年が経過しました。この間、市議会では、委員会内に3つの班（1班、2班、特別班）を設置し、それぞれの班で議会改革に取り組んできましたので、これまでの取り組みをご報告いたします。

議会改革検討委員会	委員長 齊藤 諭	1班 (11名)	テーマ:議会の見える化&市民の声を市政に反映 (班長) 小池伸吾 (副班長) 村松三千雄
		2班 (11名)	テーマ:行政の監視機能の強化&政策提言 (班長) 名取 泰 (副班長) 戸栗 淳
		特別班 (3名)	テーマ:タブレットPCを使った議会運営 (班長) 齊藤博明 (副班長) 櫻田 力

#### 議会改革の 取組み ① テーマ:タブレットPCを使った議会運営

#### 6月議会からタブレットPCを導入

##### ●コスト削減等により議会活動を合理化

導入することによるメリットは次のとおりです。

- ・ペーパーレス化により紙・印刷・配布コストを削減できる。
- ・図書追録にかかる加除費を削減できる。
- ・資料を持ち歩く必要がなく、見たい資料をすぐに見られる。
- ・議員への通知・連絡の迅速化を図れる。

南アルプス市議会では今回の6月議会からタブレットPCを使用した議会運営を行いました。今後はタブレットPCを更に有効活用していきたいと考えています。



タブレットの操作や会議システムの使用方法を学ぶため延べ4回にわたって研修を行いました。

#### 議会改革の 取組み ② テーマ:行政の監視機能の強化

#### 議会による事務事業評価の試行的実施

##### ●議会による事務事業評価とは

市役所は市民のために行政サービスを提供しています。

しかし、市民のために行う行政であるにも関わらず、行政サービスを提供する側の視点で事業が考えられていることもあるため、中には「こうすればもっと良くなるのに」と思うような事業もあります。

議会による事務事業評価とは、行政が真に市民のために行われるようにするため、議会が、市が行う事務事業を、市民目線に立ち、より多角的な視点で評価することです。

南アルプス市議会では、昨年度から先進事例の視察を行うなど研究を重ね、今議会から事務事業評価を試行的に実施していきます。

##### ◆事務事業評価の対象とする事業

6月議会では3つの常任委員会で、事務事業評価の対象とする事業を決めました。

今後、事業に対する評価を実施していきます。

##### 評価の対象とする事業

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 総務常任委員会   | ・若者世帯定住支援奨励金事業 |
|           | ・政策研究業務        |
| 厚生文教常任委員会 | ・リサイクル推進事業     |
| 産業土木常任委員会 | ・ユネスコエコパーク推進事業 |

#### 議会改革の 取組み ③ テーマ:行政の監視機能の強化

#### 議員間討議のルールを整備

##### ●議員間討議とは

議会では通常、議案の説明→質疑→討論→採決 という順を経て、最終的に議案の可決・否決が決まります。

しかし、議案の内容によっては、質疑、討論（議案に対する賛成や反対の一方的な主張）だけでなく、議員同士が十分に討議を行い、争点や論点を明確にした上で、合意形成を図ることも必要となります。現在、この議員間討議を実施するためのルールの整備を行っています。

**議案の説明** 執行部が議員に議案を説明

**質疑** 議員が執行部に疑義を質す

##### 議員間討議

**討論** 議員が、賛成か反対か自己の意見を表明

**採決** 議案の可決・否決が決定

## 議会改革の 取組み ④

テーマ：議会の見える化 & 市民の声を市政に反映

### 市民アンケートの実施

- これまでの経過 議会だより No.74 (令和3年10月25日発行) にて市民アンケートを実施  
議会だより No.76 (令和4年4月25日発行) にてアンケート調査を報告  
アンケート調査の詳細は、市のホームページからご覧いただけます。 QRコードはこちら ▶



- 今後の取組み 私たち南アルプス市議会は、議会がその機能を果たすためには、議会の活動を知ってもらうこと(広報)、市民のみなさまの声に耳をかたむけること(広聴)が欠かせないと考えます。  
今後は、アンケートを実施することによって明らかになった課題をさらに精査し、市民のみなさまが議会に求めていることを把握して、議会としての取組みに生かしていきたいと思えます。

## 議会改革の 取組み ⑤

テーマ：議会の見える化

### YouTubeを使った動画配信

- スマホで本会議を視聴できます

これまで議会の本会議を視聴するための方法は、本会議中に議場へ行って傍聴するか、決まった時間にCATVを視聴する方法に限られていましたが、YouTubeを使った動画配信の実施により、インターネットの環境さえあればいつでもどこでも配信された本会議の動画を視聴できるようになりました。  
スマートフォンをお持ちの方は、QRコードリーダーで右側のQRコードを読み込んでみてください。



QRコードを読み込むと  
本会議を視聴できます。



#### ◆本会議を視聴するための方法

- 傍聴** ○議会の様子をつぶさに見ることができます。 △決まった時間に議場に行く必要があります。
- CATV** ○議場まで足を運ばなくてもCATVの視聴環境があれば視聴することができます。 △放映時間が決まっています。
- YouTube** ○インターネットの環境があれば、いつでもどこでも、配信された動画を視聴することができます。

## 議会改革の 取組み ⑥

テーマ：議会の見える化

### 会議録検索システムの整備

合併(平成15年)以後のすべての定例会・臨時会の会議録を閲覧・検索できるようにしました。

- 会議録検索システムでできること

- ・本会議の会議録を閲覧することができます。
- ・会議録の中から、検索した用語・期間・発言者などを表示することができます。



QRコードはこちら ▶

#### ◆例えば、こんな使い方ができます

- 用語で検索** 例えば「SDGs」という用語で検索すると「SDGs」という用語を含む発言をすべて確認できます。  
⇒ ある政策課題に対して、どの議員がどんな発言をしたかがわかります。
- 発言者名で検索** 発言者を選ぶと、その発言者の全ての発言を閲覧できます。  
⇒ 本会議の場で、どの議員がどんな発言をしているかがわかります。

## 議会改革の 取組み ⑦

テーマ：行政の監視機能の強化

### 予算審査の充実

- これまでの経過 以前は3常任委員会において予算を審査していましたが、改善の必要性があることから議会内で検討を重ね、令和2年の6月議会から、議長を除く全議員により構成される特別委員会による審査を実施しています。特別委員会による予算審査の導入後も、議会が終わるごとに全議員による検証を重ねるなど、効果的な予算審査を行うための試行錯誤を重ね現在に至っています。

- 今後の取組み 予算は、今後の市の方向性を決め、また、市民生活に直結する、とても大事なものです。予算を議決する議員には大きな責任があります。今後も、より充実した予算(決算)審査の在り方をもとめ、研究を重ねてまいります。



# 市民から ひ・と・こ・と

HITOKOTO from the Citizen



飯野 金雄 さん  
(地区/飯野)

年を取れば平穏が一番という感覚がなによりです。  
子どもの頃からみると大きく変わったことやものも沢山ありますが、昔と変わらぬ所に“山の神”がひっそり置かれているのを見て心が癒されています。  
干涸びた脳味噌には、あまりに急激な変化はなじまないのかもしれませんが。  
これからの世の中変えていかなければならないことは多いと思いますが、ゆっくりとをモットーにして進めていただければありがたいです。  
またたく間に過ぎゆく時のあわいにふと考えたことです。



仙洞田 啓博 さん  
(地区/下今諏訪)

南アルプス市発足から早いもので来年 20 年目となります。4 町 2 村の合併で、公共施設の再配置、各種行事の見直し等、今日に至るまでいろいろな紆余曲折があった中で、市当局ならびに議員の皆様には大変ご苦労があったと思います。  
現在、南アルプス市は住みよい街になりました。  
今後は、人口減少と少子高齢化が重要な課題かと思われまます。南アルプス市だけでは解決することではありませんが、避けては通れない問題であると認識しております。議員の皆様には、議論、検討して頂くことをお願いいたします。  
議会から市民にいろいろな情報発信を期待するところです。

## 市民から ひ・と・こ・と 募集中

あなたの意見を『議会だより』で発表してみませんか。  
市議会に対する意見や感想をぜひお寄せください。  
【300 字以内にまとめてください】



【提出先】

〒400-0395 南アルプス市小笠原 376  
南アルプス市議会事務局 宛  
メール：gikai@city.minami-alps.lg.jp  
FAX：055-282-6459



## 表紙写真 募集中!!



『議会だより』の表紙写真を募集しています。

テーマは、南アルプスユネスコエコパークに  
ちなんだ市内の自然風景です。市街地や山岳地域など、  
これはというものをぜひご投稿ください!

詳しくは  
webで

※応募条件や提出方法は市ホームページを  
ご覧ください。

<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/9395.html>



## みなさんの傍聴をお待ちしております!

事前申込不要 委員会も傍聴できます

### ●第3回定例会の会期予定

8月26日……………本会議(初日)  
8月29日～9月5日……………委員会  
9月7日～8日……………代表・一般質問  
12日～20日……………委員会  
26日……………本会議(最終日)

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。(日程が変更になる可能性があります。)

### ●第2回定例会の傍聴者数：30人

※報道関係者9人は除く

## 編集後記

晴天に恵まれた6月25日、広河原において「2022 南アルプス開山祭」ならびに昨年10月完成した広河原山荘の「オープニングセレモニー」が開催されました。

開山祭では先駆者の偉業に感謝し、献花を行い、山岳観光の活性化を祈念するとともに、登山の安全を祈願する「蔓(つる)払い」の儀式が行われました。

また新築された広河原山荘は登山者の安全面を考慮した山小屋機能に加え、登山だけでなく広河原の大自然を散策したり、釣りなどを楽しむ方々のためにランチやカフェが利用でき、また宿泊もできる施設となっています。雄大な北岳の絶景や広河原を囲む白鳳溪谷の素晴らしい景観を満喫し、多くの皆様の憩いと癒しの場として、ご利用されることを期待しています。

議会だより編集委員会

委員長/北村 千代子 副委員長/松野 昇平  
委員/藤田 亜由未、保坂 健、三木 充、斉藤 諭  
河野 木綿子、小林 敏徳

南アルプス No.77  
市議会だより

発行者 南アルプス市議会 〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376  
TEL 055-282-6452 FAX 055-282-6459  
URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/gikai/>

